

# Report of survey research about elections at Hakusan City in Ishikawa Prefecture

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/3840">http://hdl.handle.net/2297/3840</a>

# 石川県白山市における 「選挙に関する意識調査」報告書

足 立 研 幾      岡 田      浩

## はじめに

本稿は、「大学コンソーシアム石川」の平成18年度地域課題研究ゼミナール「選挙における若年層の投票率向上に関する調査研究」の一環として、白山市選挙管理委員会の協力を得て行われた「選挙に関する意識調査」の結果の概要を示し、それに若干の考察を加えたものである。

## 1. 調査の概要

白山市の選挙人名簿から無作為で抽出された1500人の方を対象に、平成18年9月19日に、質問用紙と回答用マークシートと返送用封筒を郵送した。発送後、約2週間の間に594人の方から回答を頂いた。郵送した数に対する回収率は39.6%である。

回答者の年齢構成を、平成17年12月現在の住民基本台帳人口と比較すると（[表1]）、40代までは実際の年齢構成よりも少なく、それ以上の年齢層では多めになっており、回答者の年齢構成が、全体的に実際より高めになっていることがわかる。このことから、白山市の有権者全体と今回の調査の回答者の間には、その性質において、ある程度のずれが存在している可能性も考えられる。

本稿では以上の点に留意しつつ、20代、30代を「若年層」と定義し、なぜ若年層の投票率は低下しているのかについて、調査結果の分析をすすめていきたい。

---

1 メンバーは、金沢大学法学部「政策過程論演習」担当教員足立研幾、「投票行動論演習」担当教員岡田浩、政策過程論演習ゼミ生3年生12名、4年生12名の合計26名である。

〔表1〕 白山市の住民基本台帳人口と本調査の回答者の年齢構成

	住民基本台帳人口	本調査回答者
20-24	7.6%	2.9%
25-29	8.1%	5.1%
30-34	9.8%	7.2%
35-39	8.2%	5.4%
40-49	15.5%	15.3%
50-59	20.5%	22.7%
60-69	14.0%	19.0%
70-79	10.2%	14.8%
80歳以上	6.2%	4.2%
無回答		3.4%

## 2. 若年層の投票参加の現状

〔表2〕 石川県知事選挙での投票

		年代別							合計	
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上		無回答
知事選挙で投票したか	投票した	31 66.0%	47 62.7%	62 68.1%	102 75.6%	92 81.4%	75 85.2%	16 72.0%	13 65.0%	440 74.1%
	投票しなかった	16 34.0%	28 37.3%	29 31.9%	33 24.4%	21 18.6%	13 14.8%	7 28.0%	7 35.0%	154 25.9%
合計	総数	47	75	91	135	113	88	25	20	594
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

まず、若年層の投票参加の現状について検討してみよう。本調査の直近の選挙である平成18年3月の石川県知事選挙に投票したかどうかについては、回答者全体では74.1%が「投票した」と回答し、25.9%が「投票しなかった」と回答しているのに対して、20代、30代は「投票しなかった」という回答が3割を超えており、やはり若年層は棄権する割合が高いことがわかる。

40代、50代、60代、70代と「投票した」という回答は徐々に上昇していくが、80歳以上になると、体力的な問題や社会的な活動からの引退によるものであろうか、「投票した」という回答は72.0%に低下している。

[表3] ふだん投票に行っているか（国の選挙）

		年代別								合計	
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答		
投票に行 っている か(国の 選挙)	いつも投票	度数	26	39	55	105	89	69	18	10	411
		%	55.3%	52.0%	60.4%	77.8%	78.8%	78.4%	72.0%	50.0%	69.2%
	棄権するときもある	度数	10	17	25	24	17	9	4	6	112
		%	21.3%	22.7%	27.5%	17.8%	15.0%	10.2%	16.0%	30.0%	18.9%
	投票するときもある	度数	7	13	10	4	3	6	0	3	46
		%	14.9%	17.3%	11.0%	3.0%	2.7%	6.8%	0%	15.0%	7.7%
	いつも棄権	度数	4	6	0	1	0	0	0	7	12
		%	8.5%	8.0%	.0%	.7%	0%	0%	0%	5.0%	2.0%
無回答	度数	0	0	1	1	4	4	3	0	13	
	%	.0%	.0%	1.1%	.7%	3.5%	4.5%	12.0%	0%	2.2%	
合計	度数	47	75	91	135	113	88	25	20	594	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

[表4] ふだん投票に行っているか（地方の選挙）

		年代別								合計	
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答		
投票に行 っている か(地方 の選挙)	いつも投票	度数	25	34	54	94	82	61	13	10	373
		%	53.2%	45.3%	59.3%	69.6%	72.6%	69.3%	52.0%	50.0%	62.8%
	棄権するときもある	度数	10	19	24	26	13	14	2	3	111
		%	21.3%	25.3%	26.4%	19.3%	11.5%	15.9%	8.0%	15.0%	18.7%
	投票するときもある	度数	8	12	6	7	5	5	1	5	49
		%	17.0%	16.0%	6.6%	5.2%	4.4%	5.7%	4.0%	25.0%	8.2%
	いつも棄権	度数	3	5	2	2	1	0	0	0	13
		%	6.4%	6.7%	2.2%	1.5%	.9%	0%	0%	0%	2.2%
無回答	度数	1	5	5	6	12	8	9	2	48	
	%	2.1%	6.7%	5.5%	4.4%	10.6%	9.1%	36.0%	10.0%	8.1%	
合計	度数	47	75	91	135	113	88	25	20	594	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

本調査では、国と地方（県・市）の選挙のそれぞれについて「ふだん選挙の時に投票に行っていますか」という質問も設けられていたが、その回答を見ても、20代、30代で「いつも投票している」という回答が顕著に低く、40代から60代くらいまでは「いつも投票している」という回答が徐々に上昇し、70代や80歳以上になると若干低下するという傾向が見られる。

### 3. 若年層の投票率はなぜ低いのか

#### 3-1. 棄権理由

国の選挙について「過去に投票しなかったのは、なぜですか」（複数回答可）という質問への回答を見ると（[表5]）、40代から60代にかけては、「選挙結果が予想できるような無風選挙だったから」や「どの候補者・政党にも期待できないから」といった、選挙競争のあり方や候補者・政党についての不満など、選挙の内容を棄権理由に挙げる答えが多いのに対して、20代、30代は、「やむ

を得ない用事があったから」という理由以外に、「選挙にあまり関心がなかったから」「私一人が投票してもしなくても結果は変わらず、同じだから」「どの候補・政党が当選しても同じで、たいして変わらないから」など、選挙という民主主義の制度そのものへの疑問を挙げた回答者が多かった。地方の選挙の棄権理由についても同様である（〔表6〕）。

〔表5〕 棄権理由（国の選挙）

棄権理由 (国の選挙)		年代別									合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答		
いままで一度も棄権したことがない	度数	14	19	21	51	44	43	10	4	208	
	%	29.8%	26.4%	24.4%	40.2%	45.8%	58.6%	82.6%	21.1%		
やむをえない用事	度数	14	19	27	33	20	14	2	3	132	
	%	29.8%	26.4%	31.4%	26.0%	20.8%	18.4%	10.5%	15.8%		
病気があったから	度数	0	0	5	8	5	8	1	3	34	
	%	.0%	8.3%	5.8%	4.7%	5.2%	10.5%	5.3%	15.8%		
面倒だから	度数	5	12	10	4	2	1	0	2	38	
	%	10.6%	16.7%	11.6%	3.1%	2.1%	1.3%	.0%	10.5%		
関心なかったから	度数	12	16	22	13	8	3	1	4	79	
	%	25.5%	22.2%	25.6%	10.2%	8.3%	3.9%	5.3%	21.1%		
情報がなかったから	度数	5	4	8	9	5	4	1	4	40	
	%	10.6%	5.6%	9.3%	7.1%	5.2%	5.3%	5.3%	21.1%		
選挙のしくみがよく分からないから	度数	3	2	4	2	4	3	1	1	20	
	%	6.4%	2.8%	4.7%	1.6%	4.2%	3.9%	5.3%	5.3%		
私一人が投票してもしなくても同じ	度数	7	18	20	17	14	4	2	6	88	
	%	14.9%	25.0%	23.3%	13.4%	14.6%	5.3%	10.5%	31.6%		
箱風選挙だったから	度数	4	7	22	23	17	9	3	4	89	
	%	8.5%	9.7%	25.6%	18.1%	17.7%	11.8%	15.8%	21.1%		
どの候補者・政党にも期待できないから	度数	3	6	19	16	14	2	0	2	62	
	%	6.4%	8.3%	22.1%	12.6%	14.6%	2.6%	.0%	10.5%		
どの候補者・政党が当選しても変わらない	度数	8	14	23	23	18	6	4	2	98	
	%	17.0%	19.4%	26.7%	18.1%	18.8%	7.9%	21.1%	10.5%		
その他	度数	1	4	5	2	4	3	1	1	21	
	%	2.1%	5.6%	5.8%	1.6%	4.2%	3.9%	5.3%	5.3%		
合計	度数	47	72	86	127	98	76	19	13	542	

パーセンテージと合計は応答者数に基づいて計算した。

〔表6〕 棄権理由（地方の選挙）

棄権理由 (地方の選挙)		年代別									合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答		
いままで一度も棄権したことがない	度数	9	17	23	49	42	43	10	4	197	
	%	19.1%	24.3%	27.7%	38.6%	45.2%	58.1%	52.6%	22.2%		
やむをえない用事	度数	13	20	23	30	19	11	3	3	122	
	%	27.7%	28.6%	27.7%	23.6%	20.4%	14.9%	15.8%	16.7%		
病気があったから	度数	2	4	6	4	5	8	1	3	32	
	%	2.1%	5.7%	7.2%	3.1%	5.4%	10.8%	5.3%	16.7%		
面倒だから	度数	6	11	10	3	3	1	0	2	38	
	%	12.8%	15.7%	12.9%	2.4%	3.2%	1.4%	.0%	11.1%		
関心なかったから	度数	14	17	20	8	5	2	1	4	71	
	%	29.8%	24.3%	24.1%	6.3%	5.4%	2.7%	5.3%	22.2%		
情報がなかったから	度数	3	7	9	8	2	8	0	2	35	
	%	6.4%	10.0%	10.8%	4.7%	2.2%	8.1%	.0%	11.1%		
選挙のしくみがよく分からないから	度数	3	1	3	1	5	2	0	1	18	
	%	6.4%	1.4%	3.6%	.8%	5.4%	2.7%	.0%	5.6%		
私一人が投票してもしなくても同じ	度数	10	18	16	15	11	1	2	3	78	
	%	21.3%	25.7%	19.3%	11.8%	11.8%	1.4%	10.5%	16.7%		
箱風選挙だったから	度数	4	14	19	28	20	7	2	3	97	
	%	8.5%	20.0%	22.9%	22.0%	21.5%	9.5%	10.5%	16.7%		
どの候補者・政党にも期待できないから	度数	2	7	14	11	9	2	0	1	46	
	%	4.3%	10.0%	16.9%	8.7%	9.7%	2.7%	5.3%	.0%		
どの候補者・政党が当選しても変わらない	度数	5	19	20	14	15	7	2	2	84	
	%	10.6%	27.1%	24.1%	11.0%	18.1%	8.5%	10.5%	11.1%		
その他	度数	3	4	8	4	2	2	1	1	25	
	%	6.4%	5.7%	9.6%	3.1%	2.2%	2.7%	5.3%	5.0%		
合計	度数	47	70	83	127	93	74	19	18	531	

パーセンテージと合計は応答者数に基づいて計算した。

3-2. 投票理由

こんどは逆に、「過去に投票に行かれたのは、どういうお気持ちからですか」（複数回答可）と、投票理由を聞いた質問への回答を見てみよう（〔表7〕）。

20代、30代と、40歳以上の年齢層を比べてみると、40歳以上では、「当選させたい候補者がいたから」「もりたてたい政党があったから」「その選挙に関心があったから」など、選挙の内容について触れている回答や、「政治をよくするためには、ともかく投票することが大事だから」などの回答が多いのに対して、20代、30代は、その他の年齢層と比べて、「家族にいわれて」や「入っている団体や組織や知り合いにたのまれて」など、他からの働きかけを理由として挙げる人が多い。特に地方の選挙において、そのような傾向が強い（〔表8〕）。

〔表7〕投票理由（国の選挙）

投票理由 (国の選挙)	年代別								合計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答	
いままでも一度も投票 したことがない	5 10.6%	5 6.7%	0 .0%	1 .7%	0 .0%	2 2.4%	0 .0%	0 .0%	13
当選させたい候補者 がいた	8 17.0%	14 18.7%	29 31.9%	58 43.3%	42 37.2%	40 48.2%	10 45.5%	7 36.8%	208
もりたてたい政党が あった	7 14.9%	11 14.7%	26 28.6%	37 27.6%	40 35.4%	21 25.3%	7 31.8%	2 10.5%	151
その選挙に関心があ った	11 23.4%	16 21.3%	25 27.5%	39 29.1%	39 24.6%	20 24.1%	3 13.6%	9 31.6%	148
ともかく投票するこ とが大変	15 31.9%	25 33.3%	49 53.8%	73 54.5%	73 64.6%	52 62.7%	11 50.0%	10 52.6%	308
投票するのは義務	24 51.1%	43 57.3%	47 51.6%	81 60.4%	57 50.4%	80 60.2%	10 45.5%	8 42.1%	320
家族にいわれて	10 21.3%	10 13.3%	5 5.5%	3 2.2%	2 1.8%	2 2.4%	1 4.5%	4 21.1%	37
入っている団体や知 り合いにたのまれて	5 10.6%	11 14.7%	17 18.7%	15 11.2%	11 9.7%	4 4.8%	1 4.5%	4 21.1%	68
その他	1 2.1%	4 5.3%	2 2.2%	2 1.5%	3 2.7%	1 1.2%	0 .0%	1 5.3%	14
合計	47	75	91	134	113	83	22	19	584

パーセンテージと合計は応答数に基づいて計算した。

[表 8] 投票理由 (地方の選挙)

投票理由	度数	年代別							無回答	合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上		
いままでも一度も投票し たことがない	3 6.4%	5 8.8%	1 1.1%	1 .8%	0 .0%	3 3.6%	0 .0%	0 .0%	13	
当選させたい候補者が いた	12 25.5%	13 17.8%	47 53.4%	72 55.0%	62 60.2%	57 67.9%	12 60.0%	10 52.6%	285	
もりたてたい政党があ った	3 6.4%	2 2.7%	15 17.0%	15 11.5%	15 14.6%	11 13.1%	4 20.0%	2 10.5%	67	
その選挙に関心があつ た	9 19.1%	11 15.1%	21 23.9%	32 24.4%	31 30.1%	30 35.7%	1 5.0%	5 26.3%	140	
ともかく投票することが 大事	13 27.7%	22 30.1%	40 45.5%	60 45.8%	51 49.5%	41 48.8%	9 45.0%	9 47.4%	245	
投票するのは義務	22 46.8%	43 58.9%	35 39.8%	81 61.8%	51 49.5%	45 53.6%	9 45.0%	7 36.8%	293	
家族にいわれて	13 27.7%	12 16.4%	8 9.1%	4 3.1%	2 1.9%	2 2.4%	2 10.0%	5 26.3%	48	
入っている団体や知り 合いにたのまれて	7 14.9%	22 30.1%	26 29.5%	27 20.8%	16 15.5%	6 7.1%	1 5.0%	4 21.1%	109	
その他	2 4.3%	4 5.5%	1 1.1%	0 .0%	3 2.9%	1 1.2%	0 .0%	2 10.5%	13	
合計	47	73	88	131	103	84	20	19	565	

パーセンテージと合計は応答者数に基づいて計算した。

### 3-3. 若年層の棄権理由

本調査では、「最近、若い有権者が、あまり投票に行かなくなってきていることが問題になっていますが、その理由は何だと思いますか」(複数回答可)という質問も設けられていた([表9])。寄せられた回答を見てみると、「若い有権者は、政治に関心がなく、娯楽などを優先させているから」という回答が全体的には多いが、20代、30代の人自身が考えている若年層の投票率低下理由と、40歳以上の人が考えている理由の違いに焦点を当ててみると、40歳以上では、「若い有権者は、政党や政治家に不信感を持っているから」や「若い有権者は、基本的に今の生活に満足しているから」など、若年層の意識を問題としているのに対して、20代、30代の人自身は、「若い有権者は、選挙の争点や候補者・政党についての情報が少なく、よくわかってないから」や「若い有権者は、選挙の意味やしぐみがよくわかってないから」など、意識よりも情報不足などを原因として指摘する回答が多かった。

[表9] 若年層の棄権理由

若年層の棄権理由		年代別								合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	回答数	
アピール不足	度数	8	16	18	28	16	17	7	2	112
	%	17.0%	21.3%	19.8%	20.7%	14.5%	20.0%	33.3%	10.5%	
不信感	度数	17	16	29	48	47	34	5	10	208
	%	36.2%	21.3%	31.0%	35.6%	42.7%	40.0%	23.8%	52.6%	
関心	度数	32	57	76	110	78	97	15	12	437
	%	68.1%	76.0%	83.5%	81.5%	70.9%	67.1%	71.4%	63.2%	
今の生活に満足	度数	3	6	17	15	9	18	3	5	74
	%	6.4%	8.0%	18.7%	11.1%	8.2%	18.8%	14.3%	26.3%	
情報不足	度数	20	16	25	23	23	10	2	4	129
	%	42.6%	21.3%	27.5%	17.0%	20.9%	18.8%	9.5%	21.1%	
選挙の意味やしきみがよくわかっていない	度数	19	20	29	25	15	11	2	5	126
	%	40.4%	26.7%	31.9%	18.5%	13.6%	12.9%	9.5%	26.3%	
選挙や政治への関心つきをそれほど感じていない	度数	24	48	54	94	87	38	10	9	342
	%	51.1%	61.3%	59.3%	69.6%	60.9%	44.7%	47.8%	47.4%	
合計	度数	47	75	91	135	110	85	21	19	583

パーセンテージと合計は応答者数に基づいて計算した。

### 3-4. 投票決定に利用している情報

若年層自身は、情報不足を若年層の投票率が低い理由として挙げているが、投票を決定する際に利用している情報は年齢層によってどのように異なっているのでしょうか。「あなたが、どの候補者や政党に投票するかを決める際に、役立っていると思うものは何ですか」（複数回答可）という質問への回答を見よう（[表10] [表11]）。

まず「選挙公報」については、国の選挙の際に、20代で17.4%、30代で14.7%が役に立っていると答えているが、70代や80歳以上では4割程度が役に立ったと答えていることに比べると、それほど高い割合ではない。

20代、30代と、40歳以上で比較するならば、40歳以上で高い割合になっている情報源は、「候補者や政党の演説会や街頭演説」「候補者や政党のビラ・ポスター・ハガキ」「新聞の情報」などである。20代、30代で高いのは、「テレビの情報」「週刊誌・雑誌の情報」「インターネットの情報」「周りの人のすすめ」などである。同じマスメディア（マスコミ）でも、新聞は40歳以上の年齢層でよく利用され、テレビや雑誌は若年層で利用されているという違いがある。インターネットが若い年齢層で利用が比較的多いのは予想どおりだが、それほど高い割合ではない。「周りの人のすすめ」が、若年層で高い割合を占めているのは、先の [表7] [表8] の結果と一致している。



国と地方の選挙の情報源の違いに注目すると、国の選挙でよく利用されているのは「テレビ」「ラジオ」「新聞」「雑誌」「インターネット」であり、地方の選挙でよく利用されているのは「選挙公報」「演説会や街頭演説」「ビラ・ポスター・ハガキ」「入っている団体のすいせん」「周りの人のすすめ」である。最近、特に地方の選挙で若年層の投票率低下が顕著であると言われるが、20代、30代で利用率が高い、テレビや雑誌などのマスメディアや、インターネットでは、地方の選挙の情報あまり流れないというところにも、地方選挙における若年層の投票率低下の原因があるように思われる。

[表10] 投票に役立っている情報（国の選挙）

		年代別							無回答	合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上		
投票に役立 ているも の(国の選 挙)	いままですら一度も投票し たことがない	度数 3	4	0	1	0	2	0	0	10
	%	6.9%	5.3%	.0%	.8%	.0%	2.4%	.0%	.0%	
選挙公報	度数	9	11	21	33	30	34	9	6	152
	%	17.4%	14.7%	23.3%	25.0%	26.8%	40.0%	40.8%	31.6%	
演説会や街頭演説	度数	5	11	22	41	36	34	3	5	157
	%	10.9%	14.7%	24.4%	31.1%	32.1%	40.0%	13.6%	26.3%	
ビラ・ポスター・ハガキ	度数	7	11	12	28	29	15	5	3	111
	%	15.2%	14.7%	13.3%	22.0%	25.9%	17.8%	22.7%	15.8%	
テレビの情報	度数	21	47	62	79	81	43	13	14	360
	%	45.7%	62.7%	68.9%	59.8%	72.3%	50.8%	58.1%	73.7%	
ラジオの情報	度数	1	7	2	7	15	3	3	4	42
	%	2.2%	9.3%	2.2%	5.3%	13.4%	3.5%	13.6%	21.1%	
新聞の情報	度数	16	39	46	72	59	47	12	10	301
	%	34.8%	52.0%	51.1%	54.5%	52.7%	55.3%	54.5%	52.6%	
雑誌の情報	度数	6	10	10	11	5	1	0	2	45
	%	13.0%	13.3%	11.1%	8.3%	4.5%	1.2%	.0%	10.5%	
インターネットの情報	度数	3	9	5	6	2	1	0	1	27
	%	6.5%	12.0%	5.6%	4.5%	1.8%	1.2%	.0%	5.3%	
入っている団体の推薦	度数	7	8	20	21	16	9	3	6	90
	%	15.2%	10.7%	22.2%	15.9%	14.3%	10.6%	13.6%	31.6%	
周りの人のすすめ	度数	11	13	16	10	7	5	3	6	71
	%	23.9%	17.3%	17.8%	7.8%	6.3%	5.9%	13.6%	31.6%	
合計	度数	46	75	90	132	112	85	22	19	581

パーセンテージと合計は応答者数に基づいて計算した。

[表11] 投票に役立っている情報（地方の選挙）

		年代別								合計	
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答		
投票に役立 っているも の(地方の 選挙)	いままでも役立った ことがない	度数	1	4	1	0	1	4	0	0	11
	%	2.2%	5.5%	1.1%	.0%	1.0%	4.6%	.0%	.0%		
	選挙公報	度数	11	19	31	49	38	40	9	6	203
	%	23.0%	28.0%	34.8%	37.7%	36.2%	46.0%	42.9%	31.6%		
	演説会や街頭演説	度数	8	14	29	57	44	31	5	5	193
	%	17.4%	19.2%	32.6%	43.8%	41.9%	35.6%	23.8%	26.3%		
	ビラ・ポスター・ハガキ	度数	10	12	22	33	40	24	5	3	149
	%	21.7%	16.4%	24.7%	25.4%	38.1%	27.6%	23.8%	15.8%		
	テレビの情報	度数	13	30	20	35	33	25	6	10	172
	%	28.3%	41.1%	22.5%	26.9%	31.4%	28.7%	28.6%	52.6%		
	ラジオの情報	度数	2	5	0	5	6	3	2	2	25
	%	4.3%	6.8%	.0%	3.8%	5.7%	3.4%	9.5%	10.5%		
	新聞の情報	度数	16	27	31	57	37	35	10	7	220
	%	34.6%	37.0%	34.8%	43.8%	35.2%	40.2%	47.8%	38.8%		
	雑誌の情報	度数	1	5	3	4	2	1	0	1	17
%	2.2%	6.8%	3.4%	3.1%	1.9%	1.1%	.0%	5.3%			
インターネットの情報	度数	3	2	3	3	0	0	0	0	11	
%	6.5%	2.7%	3.4%	2.3%	.0%	.0%	.0%	.0%			
入っている団体の理屈	度数	9	14	31	25	18	8	5	8	116	
%	19.0%	19.2%	34.8%	19.2%	17.1%	9.2%	23.8%	31.6%			
周りの人のすすめ	度数	17	23	29	24	14	13	5	8	131	
%	37.0%	31.5%	32.6%	19.5%	13.3%	14.9%	23.8%	31.6%			
合計	度数	46	73	89	130	105	87	21	19	570	

パーセンテージと合計は応答者数に基づいて計算した。

### 3-5. 政治的会話

[表7] [表8] 及び [表10] [表11] の分析から、20代、30代の若年層は、周囲の働きかけを投票に行く理由として挙げるのが比較的多いことがわかったが、具体的には、どのような人達からの働きかけなのであろうか。「あなたは、次の方々と、政治についての話をすることがありますか」という質問に対する答えを見てみよう（[表12] ~ [表16]）。

「近所の人」に関しては、そもそも付き合い自体がないという回答が、若年層では2割にも達している。若年層はマンション等の集合住宅に住んでいる人が多く、近所づきあいがいいということであろうか。

「入っている団体の人（仕事関係の団体・労働組合・宗教団体・市民運動の団体など）」についても、若年層では4割以上が付き合いがないとしている。

その他の「家族・親戚」「職場・学校の人」「友人・知人」については、さすがに若年層も付き合いがあると答えている。特に「職場・学校の人」に関しては、50代以上では1割から2割の人が付き合いがないと回答しているのに対して、若年層は付き合いがあるという回答が多い。

付き合いがあっても、選挙や政治の話をするかどうかは別であるが、友人・

知人に関しては「政治の話はしない」という回答が若年層に多い。「家族・親戚」「職場・学校」に関しては、若年層でも「たまに政治の話をする」という回答が多い。

以上のことから、若年層を投票に向かわせる「周囲からの働きかけ」とは、家庭や、職場・学校における会話や働きかけであると推測できる。

[表12] 政治についての話をするか（近所の人）

		年代別								割合	合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	割合		
政治的 会話(近 所の人)	付き合いがない	度数	10	15	5	5	5	7	1	0	48
		%	21.3%	20.0%	5.5%	3.7%	4.4%	8.0%	4.0%	.0%	8.1%
	政治の話はしない	度数	28	52	58	67	53	22	10	13	303
		%	59.6%	69.3%	63.7%	49.6%	46.9%	25.0%	40.0%	65.0%	51.0%
	たまに政治の話をする	度数	3	7	23	53	34	31	7	3	161
		%	6.4%	9.3%	25.3%	39.3%	30.1%	35.2%	28.0%	15.0%	27.1%
	よく政治の話をする	度数	1	0	1	2	3	3	1	0	11
		%	2.1%	.0%	1.1%	1.5%	2.7%	3.4%	4.0%	.0%	1.9%
	無回答	度数	5	1	4	8	18	25	6	4	71
		%	10.6%	1.3%	4.4%	5.9%	15.9%	28.4%	24.0%	20.0%	12.0%
合計	度数	47	75	91	135	113	88	25	20	594	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

[表13] 政治についての話をするか（家族・親戚）

		年代別								割合	合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	割合		
政治的 会話(家 族・親 戚)	付き合いがない	度数	0	1	0	1	1	2	0	0	5
		%	.0%	1.3%	.0%	.7%	.9%	2.3%	.0%	.0%	.8%
	政治の話はしない	度数	10	11	14	20	17	10	6	4	92
		%	21.3%	14.7%	15.4%	14.8%	15.0%	11.4%	24.0%	20.0%	15.5%
	たまに政治の話をする	度数	28	50	63	81	53	36	6	10	327
		%	59.6%	66.7%	69.2%	60.0%	46.9%	40.9%	24.0%	50.0%	55.1%
	よく政治の話をする	度数	8	13	11	27	21	20	3	4	107
		%	17.0%	17.3%	12.1%	20.0%	18.6%	22.7%	12.0%	20.0%	18.0%
	無回答	度数	1	0	3	6	21	20	10	2	63
		%	2.1%	.0%	3.3%	4.4%	18.6%	22.7%	40.0%	10.0%	10.6%
合計	度数	47	75	91	135	113	88	25	20	594	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

[表14] 政治についての話をするか（職場・学校）

		年代別								割合	合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	割合		
政治的 会話(職 場・学 校)	付き合いがない	度数	1	5	3	18	12	16	5	1	61
		%	2.1%	6.7%	3.3%	13.3%	10.6%	18.2%	20.0%	5.0%	10.3%
	政治の話はしない	度数	20	29	23	32	25	6	4	6	150
		%	42.6%	38.7%	20.6%	23.7%	22.1%	6.8%	16.0%	30.0%	25.3%
	たまに政治の話をする	度数	19	30	50	62	30	13	2	10	222
		%	40.4%	48.0%	54.9%	45.0%	26.5%	14.8%	8.0%	50.0%	37.4%
	よく政治の話をする	度数	2	3	7	10	4	3	1	0	30
		%	4.3%	4.0%	7.7%	7.4%	3.5%	3.4%	4.0%	.0%	5.1%
	無回答	度数	5	2	3	13	42	50	13	3	131
		%	10.6%	2.7%	3.3%	9.6%	37.2%	56.8%	52.0%	15.0%	22.1%
合計	度数	47	75	91	135	113	88	25	20	594	
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

[表15] 政治についての話をするか（友人・知人）

		年代別								合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答	
政治的 会話(友 人・知 人)	付き合いがない	0	1	0	1	2	1	1	2	8
	%	.0%	1.3%	.0%	.7%	1.8%	1.1%	4.0%	10.0%	1.3%
	政治の話はしない	25	46	42	46	34	13	5	5	216
	%	33.2%	61.3%	46.2%	34.1%	30.1%	14.8%	20.0%	25.0%	36.4%
	たまに政治の話をする	17	23	44	73	45	41	12	10	265
	%	36.2%	30.7%	48.4%	54.1%	39.8%	48.6%	48.0%	50.0%	44.6%
よく政治の話をする	1	3	3	6	12	7	2	1	35	
%	2.1%	4.0%	3.3%	4.4%	10.6%	8.0%	8.0%	5.0%	5.9%	
無回答	4	2	2	9	20	26	5	2	70	
%	8.5%	2.7%	2.2%	6.7%	17.7%	29.5%	20.0%	10.0%	11.8%	
合計	度數	47	75	91	135	113	88	25	20	594
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

[表16] 政治についての話をするか（入っている団体の人）

		年代別								合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答	
政治的 会話(団 体の人)	付き合いがない	19	37	30	49	22	9	4	9	179
	%	40.4%	49.3%	33.0%	36.3%	19.5%	10.2%	16.0%	45.0%	30.1%
	政治の話はしない	12	20	32	25	19	9	4	6	127
	%	25.3%	26.7%	35.2%	18.5%	16.8%	10.2%	16.0%	30.0%	21.4%
	たまに政治の話をする	6	13	17	34	24	14	2	1	111
	%	12.8%	17.3%	18.7%	25.2%	21.2%	15.9%	8.0%	5.0%	18.7%
よく政治の話をする	3	0	4	3	8	7	3	1	29	
%	6.4%	.0%	4.4%	2.2%	7.1%	8.0%	12.0%	5.0%	4.9%	
無回答	7	5	8	24	40	49	12	3	148	
%	14.9%	6.7%	8.8%	17.8%	35.4%	55.7%	48.0%	15.0%	24.9%	
合計	度數	47	75	91	135	113	88	25	20	594
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### 3-6. 若年層の投票率を上げる方策について

本調査では、「若い有権者の投票率を上げるためには、どうすればよいと思いますか」（複数回答可）という質問も設けられていた（[表17]）。全体的には、「政党や候補者が、若い有権者にもっとアピールしたり、公約を守って政治への不信をなくしたりするなど、政党や候補者の側の努力がもっと必要」という回答が圧倒的に多いが、20代、30代の回答で、他の年齢層と比べて多いのは、「インターネットによる電子投票を実施したり、投票所を増やすなど、もっと投票しやすくする」であった。

また、「投票を義務化して、棄権した人に罰金を課すなど、なんらかの罰を与える」や「投票した人に記念品を配るなど、なんらかの利益を与える」という、投票することに伴う「アメ」あるいは「ムチ」が必要という回答が若年層で比較的多いことが目を引く。

[表17] 若年層の投票率を上げるには

		年代別							無回答	合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上		
若年層の投票率を上げるには	投票資格は、候補に何らかの票を与える	度数 11	13	15	13	17	5	5	3	82
	%	23.4%	17.3%	16.9%	9.8%	15.5%	6.0%	21.7%	15.8%	
	投票に對して何らかの利益を与える	度数 8	7	11	9	7	10	5	3	60
	%	17.0%	9.3%	12.4%	6.8%	6.4%	11.9%	21.7%	15.8%	
	政党や候補者のさらなる努力	度数 29	36	54	84	82	58	14	12	367
	%	61.7%	48.0%	60.7%	63.2%	74.5%	66.7%	60.9%	63.2%	
	学校教育	度数 17	29	40	64	40	30	5	4	229
	%	36.2%	38.7%	44.9%	48.1%	36.4%	35.7%	21.7%	21.1%	
	政府や選挙管理委員会の啓蒙	度数 12	11	22	35	34	27	5	5	151
	%	25.5%	14.7%	24.7%	26.3%	30.9%	32.1%	21.7%	26.3%	
	投票しやすくする	度数 26	44	42	53	27	17	5	6	220
	%	55.3%	58.7%	47.2%	39.8%	24.5%	20.2%	21.7%	31.6%	
	選挙報道をもっと工夫する	度数 14	15	34	50	35	34	5	6	193
	%	29.8%	20.0%	38.2%	37.6%	31.8%	40.5%	21.7%	31.6%	
周囲の人が投票するよう促す	度数 13	17	28	32	21	19	4	4	138	
%	27.7%	22.7%	31.5%	24.1%	19.1%	22.6%	17.4%	21.1%		
若年層がもっと社会と関わる機会を増やす	度数 13	19	34	37	35	22	6	3	168	
%	27.7%	24.0%	38.2%	27.8%	31.8%	26.2%	26.1%	15.8%		
合計	度数	47	75	89	133	110	84	23	19	580

パーセンテージと合計は応答者数に基づいて計算した。

おわりに

最後に、これまでの分析を要約し、なぜ若年層の投票率が低いのか、また若年層の投票率を向上させるためには、いかなる方策が有効であるかについて考えてみたい。

まず、若年層の投票率が低い原因についてであるが、若年層自身は自分達が選挙に行かない理由として、知識・情報不足を原因として指摘する回答が多かった（[表9]）。「若い有権者は、選挙の争点や候補者・政党についての情報が少なく、よくわかってないから」や「若い有権者は、選挙の意味やしきみがよくわかってないから」などといった回答がそれである。選挙に関する知識・情報不足が、若年層の投票率が低い一因となっているといえそうである。

また、若年層は投票に行かない理由として、「選挙にあまり関心がなかったから」や「投票してもしなくても結果は変わらず、同じだから」や「どの候補・政党が当選しても同じで、たいして変わらないから」という理由を挙げるものがあった（[表5] [表6]）。そして、若年層の投票率低下の原因として、若年層自身も含め多くの回答者が、「若い有権者は、政治に関心がなく、娯楽などを優先させているから」だと考えている（[表9]）。若年層に、こうした選挙という民主主義の制度そのものへの疑問を挙げた回答者が多かった事は留意

する必要がある。

一方、若年層が投票に行く理由としては、「家族にいわれて」など、周囲からの働きかけを挙げる人が多かった（[表7] [表8]）。若年層を投票に向かわせる周囲からの働きかけとは、具体的には、家庭や、職場・学校における会話や働きかけであるようである（[表12] から [表16]）。

次に、これまでの分析を踏まえて、若年層の投票率を向上させるには、どのような方策が有効であるかを考えてみよう。

1つには、選挙関係の情報を若年層にもっと届きやすくすることが考えられる。本調査では、若年層は、テレビ・雑誌・インターネットを、選挙に関する情報源として挙げる人が多かったが、選挙関係の情報の提供や選挙啓発について、インターネットやテレビや雑誌をもっと活用することを考えてもよいのではないか。地方の選挙は国の選挙に比べて、若年層がよく情報源として利用するテレビ・雑誌・インターネットには情報が掲載されにくい。そのことが、地方選挙における若年層の投票率の顕著な低下の一因となっていると考えられるので、地方の選挙の場合には特に工夫が必要であろう。

2つめには、選挙啓発のあり方や、学校での公民教育のあり方を再考する必要性が指摘できる。本調査では、若年層は棄権理由として、「選挙にあまり関心がなかったから」「私一人が投票してもしなくても結果は変わらず、同じだから」など、選挙という民主主義の制度そのものへの疑問を挙げる回答者が多かったが、選挙啓発や、学校での「現代社会」や「公民」の授業でも、単に選挙のしくみを解説するのみならず、民主主義社会にとっての選挙の大切さを理解させるような内容にしていくことが必要なのではないか。

3つめには、投票を今よりも行いやすくすることが考えられる。若年層の投票率を上げる方策についての質問では、「インターネットによる電子投票を実施したり、投票所を増やすなど、もっと投票しやすくする」という回答が若年層で多かった（[表17]）。電子投票の実施などは国の選挙関係の法令の改正等を待たなければならないが、投票所や期日前投票の場所を増やしたり、設置場

所を工夫したりするなど、現状でもある程度改善の余地はあるのではないか。

4つめには、投票に行くメリットを増やすことや、投票に行かないコストを増やす（罰金等）といった方策が考えられる。本調査でも、「投票を義務化して、棄権した人に罰金を課すなど、なんらかの罰を与える」や「投票した人に記念品を配るなど、なんらかの利益を与える」という、投票することに伴う「アメ」あるいは「ムチ」が必要という回答が若年層で比較的多かった（[表17]）。もちろん、投票は義務か権利かという議論や、投票の義務化で投票の質が確保できるのかという議論など、考慮しなければならない様々な問題点があるが、このまま若年層の投票率が低下し続け、選挙で選ばれる人の正統性が問われる事態になったり、選挙を通じて政治に届く「民意」の偏りが、あまりにも著しくなるようであれば、そうした方策も検討する必要性が今後出てくるかもしれない。

5つめとして、家庭や、学校・職場などにおける会話や周囲の働きかけの重要性が指摘できる。本調査では、若年層は周りの人からの働きかけを投票の理由として挙げる人が比較的多かった。単に、新聞やテレビ等のマスメディアを通じて、選挙や政治に関する情報に傍観者的に接するのではなく、家庭や学校・職場で、選挙や政治について話し合うことにより、社会や政治に対する関心が芽生え、様々な情報も得ることができると思われる。選挙啓発についても、たとえば一部の学校で実施されている「模擬投票」など学校教育との連携や、職場との連携の可能性を模索してもよいのではないか。

以上、若年層の投票率向上のために考えられる方策を挙げたが、たとえば、家庭での会話などは、基本的に国や地方の政府が如何ともし難い領域ではある。また、電子投票の実施や罰金制度の導入といった方策は、国の法令の制定・改正を待たなければならないものである。さらには、選挙関係の情報の若年層への伝達などは、選挙のプレーヤーである政党や候補者の側の努力に依存する部分も大きい。いずれも実現への道りは容易なものではない。しかし、民主主義を成熟させ、自治を充実させて地域の活性化をはかっていくためにも、若

年層の選挙や政治についての関心や投票率を向上させていくことは非常に重要な課題であり、今後も絶えざる研究・対策が必要であろう。

(追記)

本調査は「大学コンソーシアム石川」の平成18年度地域課題研究ゼミナール「選挙における若年層の投票率向上に関する調査研究」の一環として行われ、研究費の助成を受けた。また、調査の実施にあたっては白山市選挙管理委員会事務局に多大なるご協力を頂いた。ここに記して感謝の意を表したい。

最後に、お忙しい中、本調査にご回答を頂いた方々に厚く御礼申し上げます。